

あわら市をより豊かに!

あわら市議会議員

青柳あつし

市政報告 Vol.022



～ごあいさつ～

長かった夏もようやく終わり、朝晩には秋の深まりを感じる季節となりました。このたびの長雨により、不安な時間を過ごされた皆さま、また被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

今回の議会では、昨年度の市の取り組みを振り返る決算審査が大きなテーマとなりました。事業にどのような成果があり、どのような課題が残ったのかを確認し、今後の市政につなげていく大切な審査です。

また、高齢者福祉施設が安定してサービスを続けられるよう支える取り組みや、冬の降雪に備えた除雪体制の強化など、市民の皆さまの暮らしを守るための施策も進められました。

決算審査で見てきた成果や課題を次の取り組みにしっかりと生かし、皆さまからいただく声を大切にしながら、安心して暮らし続けられるあわら市を目指して、これからも全力で取り組んでまいります。



決算について

令和7年度の決算審査を行いました。今回、私が特に重視して調査したのは、あわら市内で「**移動に困る人を生まない仕組み**」を、これからもどのように維持していくかという地域交通の課題です。

市内の移動には、電車やバス、タクシー、自転車などさまざまな手段があります。また、デマンドタクシーや観光タクシー、福祉タクシーなど、それぞれの目的に応じたサービスもあります。大切なのは、一つひとつの交通手段を別々に考えるのではなく、市民の皆さまが必要な時に使える移動手段として、地域全体で考えていくことです。

人口減少や高齢化が進んでも、住む場所によって移動が難しくなる「交通の空白」をつく

らない。そのためには、今ある地域交通を維持するだけでなく、将来どのような形なら続けていけるのかを、選択肢がある今のうちから考えていかなければなりません。

交通を残すことそのものを目的とするのではなく、誰もが安心して移動できる暮らしを守ることが大切です。地域と交通の将来を見据え、これからも調査を続け、具体的な施策へ落とし込めるよう取り組んでまいります。

車座座談会



自治会の役員会や集会の場にお声がけください。地域の課題やご意見を直接伺いにまいります。

9月議会 一般質問の裏側

9月定例会が8月28日から10月8日までの会期で開催されました。一般質問の裏側ということで、想い・考え方・反省点・今後をみなさまにお伝えします。なお、全文に関しては私のホームページに原文どおり掲載しています。

今回の一般質問では、「市民の困りごとを起点とした行政改革」について取り上げました。あわら市がより豊かなまちへと進む一歩にしていきたいと考えています。



大切なのは、どの課が担当しているかではなく、困りごとが解決すること

市民の困りごとを起点とした行政改革

この質問のきっかけは、日頃、皆さまからいただく相談です。「〇〇課について聞きたい」と言われることはほとんどなく、**多くのご相談は「こんなことで困っている」「どこに相談すればいいのか分からない」から始まります。**私も、まず困っている内容をお聞きし、そのうえで担当する部署につないでいます。

また、市役所の中でも、不便さやわかりにくさが残っています。例えば、出生や転入、介護、ご家族が亡くなられた時など。一つの出来事なのに、いくつもの窓口を回り、同じことを何度も書いたり、説明したりすることがあります。

市民の皆さまにとって大切なのは、どの課が担当しているかではなく、**困りごとが解決すること**です。こうした不便を減らし、「何か所も窓口を回らなくてよい」「同じことを何度も書かなくてよい」「どこに相

談すればいいのか分かりやすい」市役所にできないか。今回の質問では、そこを大きなテーマにしました。

このような市役所や行政の仕組みを実現するためには、今の仕事の流れそのものを見直し、AIやデータなども活用しながら、不要な引き継ぎや重複する作業を減らしていく必要があります。

行政の目的は、手続きを行うことではなく、市民の困りごとを解決することです。短くできる作業は短くし、その分、**市民の話を聞く、現場を見る、考える、判断するといった、人にしかできない仕事に、より多くの時間を使える市役所を目指していくことが大切だ**と考えています。

今後も、行政の役割や本質を見据えながら、より良い市民サービスがすべての皆さまに提供されるよう尽力してまいります。



一般質問全文



みなさんのご意見をお聞かせください。

- 一般質問へのご意見
- 子育て支援 ●地域活性化
- 人口減少



メール・FAXは24時間受付
mail: atsushi@a-oyagi.com
FAX: 0776-73-5539
TEL: 0776-73-0313

経験を、あわら市の備えへ

先日の長雨により、あわら市においても甚大な被害が発生しました。このたびの災害で怖い思いをされた皆さま、被害に遭われた皆さまに、心よりお見舞い申し上げます。

私はこれまで、熊本や丸岡町などの被災地へ足を運び、災害ボランティアなどに参加してきました。そこでは、少しでも力になりたいという思いをもって懸命に仕事にあたるのはもちろん、**現場で見たこと、聞いたこと、経験したことを、あわら市の備えに持ち帰る**ことも心がけるようにしています。



防災は、資料を読んだり説明を聞いたりするだけでは分からないことがあります。嶺北あわら消防署で初期消火訓練を体験した時も、実際にホースを持って初めて、「**知っていること**」と「**経験していること**」は違うと実感しました。いざという時にどう動くのかは、実際に経験することで見えてくることがあります。

特に熊本では、被災対応に携わった方々から直接お話を聞きました。特に心に残っているのは、**災害時には、困っていても自分か**



熊本県災害ボランティア



ら「困っています」と声を上げられない方がいるということです。また、看護師や介護職、行政職員など、被災した方を支える人たち自身も被災者になることも実感しました。

多くのボランティア経験から、災害が起きてからではなく、**普段から地域や団体、人と人がつながっていることが、いざという時の大きな力になることを学びました。**

これらを、ただ「現場に行って勉強になった」で終わらせてはいけません。そこで教えていただいたことを、「もし、あわら市で同じことが起きたら」と考え、市の備えと照らし合わせ、必要なものは改善していく。**経験と実行をつなぎ合わせることまでが、私の役割だと考えています。**

災害そのものをなくすことはできません。しかし、他の地域の経験から学び、自分自身も少しでもそれを経験し、次の備えにつなげることはできます。その積み重ねによって、少しでも混乱を減らし、守れる暮らし、救える命を増やしていきたいと思います。



丸岡町災害ボランティア 滝波先生と



海岸清掃ボランティア



熊本県防災意見交換



道路状況視察



広報誌折込 こんな時間がヒットに



戦没者慰霊祭



商工会20周年事業



日本代表をお迎えして



金津中学校 トワイライトコンサート



金津高校 文化祭



AWARAんびっく



駅前コンサート

活動報告

Activity Reports

さかい
キッズ
パーク

SAKAI
KIDS
PARK



さかいキッズパーク視察

編集後記

先日、石川県立図書館で、普段とは少し違う雰囲気の中で仕事をしてみました。同じ仕事でも、環境が変わると新鮮に感じるものですね。

少し場所を変えたり、いつもと違うことをしてみたりするだけで、日常にも新しい発見があります。

忙しい毎日の中でも、そんな日常や季節の小さな変化を楽しみながら、新しいものを見つけていけたらと思います。

